

日本医療教授システム学会(JSISH)
2016年度第2回理事会議事録

開催日時:2016年8月19日(金)16:00~17:30

開催場所:AP 東京八重洲通り 11F O ルーム

出席者:池上敬一(代表理事)、浅香えみ子、井田雅祥(以上常任理事)、阿部幸恵、岩本由美、織井優貴子、喜多敏博、高村昭輝、武田 聡、中村丈洋、三上剛人(以上理事)、高橋誠治、長坂 浩(以上監事)、松木蘭和也(事務局長)、井上まゆみ、氏家康子(以上 CATS 事務局)、仁田尾慶太(事務局)

欠席者:木村昭夫、石松伸一(以上副代表理事)、大西弘高、鈴木克明(以上常任理事)、奥寺 敬、軍神正隆、澤 智博、中島和江(以上理事)

会則 11 条 2 項により、池上代表理事を議長として開会した。

1. 議事録署名人の選出

井田雅祥常任理事、中村丈洋理事が選出された。

2. 倫理委員会の積み残しマターの処理

8月5日に常任理事会を開催し、倫理委員会の積み残し事項について、以下の方向性が確認されたと報告があり、承認された。

1)次号の学会誌に倫理委員会からの経緯の説明文を掲載

テルモ側の当時の担当者の所在が掴めないため(転職を短期に繰り返しているため追跡が不可能になった)、インタビュー等を行った倫理委員会が経緯の説明を会員に対して行う。

2)次号の学会誌(1)と同タイミング)に編集委員会から謝罪文を掲載

編集委員会から謝罪文を掲載することで、東京女子医科大学側に学会としての責任を果たす。

3. 医療職の能力開発の定期刊行を担保する編集・出版体制の改善

8月5日の常任理事会で以下の点について議論されたことが報告され、承認された。

1)篠原出版新社から変更

編集を担当している篠原出版新社の人的問題等から編集業務に携われず、また、査読手配等を行っている編集委員長の大西常任理事の秘書の方も産休に入ってしまう、雑誌が刊行出来ない状況。以上の理由から事務局を担当している学会支援機構から紹介のあった、大村印刷株式会社に見積もりを依頼中。見積もりをいただいた後、役員の確認後に契約を進める。

編集業務担当会社を変える目的は、年2回必ず学会誌を発行すること。

2)学会誌配布に関する会員アンケート

現在学会 HP 上でオンラインで学会誌を閲覧できる仕組みだが、学会誌を印刷して配布することを検討中。それにあたりまずは会員アンケートを取り、価格設定としていくらが妥当かのヒアリングを実施し、その後に理事会で報告、方針・手順を決定する。

3)掲載原稿の集め方について

なかなか原稿が集まっていないと現状説明があり、改善策として第9回総会の演題募集の際に、第9回総会当日に論文を持参すれば採択するという方針で編集委員会で検討が進められていると報告された。具体的には来年3月2日に原稿を集めて10月頃に第9回総会特集号の

学会誌として発行する。

また、隔月で事例検討会を開催しているが、今年度からは事例検討会の午前中を使い、論文の執筆支援の活動を行っているため、そこで論文を集めるという事も取り組んでいると報告された。

4. プライマリ・ケア連合学会との連携について

第 10 回総会会長の西大常任理事から、2018 年に開催される第 10 回総会について、本学会との関係も深いプライマリ・ケア連合学会との共催申請を行ったと報告があった。共催以外にも連携としての提案は、教材作成の際にデザインを本学会が担当し、プライマリ・ケア連合学会に内容作りをとという案が提案された。

5. 2020 年に向けたビジョン

2020 年に向けたビジョンとして「地域包括ケアシステムを推進する学びの場の醸成」が提案され、医療教授システムを病院の外の医療者にも提供するための活動を行い、2015 年に向けたビジョンから拡張したビジョンと説明があり、承認された。

6. 理事会の改選

来年が理事会の改選の時期になると説明があり、20 名の理事枠の内現在 19 名の理事が就任しており、残り 1 名の枠に津嘉山みどり会員(医療法人おもと会大浜第一病院)が推薦され、承認された。後日、津嘉山会員に意向確認後に理事として迎えることとした。

次回以降の理事会の改選については、立候補やこれまでの活動実績を元に推薦等、ルール作りの検討から始めることとした。

また、理事候補としては会長を引き受けてくれる方や、総会会場に所属の会場を借りられる人も一案として上がった。

7. 第 9 回総会

第 9 回総会の準備状況が報告された。

会 期:2017 年 3 月 2 日(木)~3 日(金) ※4 日(土)併設コース開催

会 場:広島大学・霞キャンパス(広仁会館及び霞会館・保健学科棟)

テーマ:「今、地域でつながろう!」~多様化する学習者を活性化し成長を支援する教育デザインを検討する~

運営体制:

運営体制と当日の運営:ハレの須藤氏(第 10 回は総会事務局)

総会事務局:NPO 法人救急医療の質向上協議会(第 10 回は総会事務局のヘルプ)

総会事務局アドバイザー:小坂氏(第 10 回も同じく総会事務局アドバイザー)

展示:ラーニング・システムズ(消費税対策)

併設コース:NPO 法人救急医療の質向上協議会

8. SimEDU2016

配布資料に基づき、SimEDU2016 セミナーについて以下の説明がされた。会場については費用が高いため、東京医大の会場が借りられれば変更して実施することとした。

セミナー名:SimEDU2016「できる」看護師に育つ/育てるシミュレーション看護学教育セミナー

日時:2016 年 10 月 28 日(金)14:00~17:00、29 日(土)9:00~17:00

会場:ニプロ iMEP(滋賀県草津市)※東京医大に変更の可能性あり
主催:日本医療教授システム学会
共催:ニプロ
協力:レールダルメディカルジャパン

9. 教育に関するオープンダイアログ

配布資料に基づき、2020 年に向けた新たなビジョン「地域包括ケアシステムを推進する学びの場の醸成」について、会員とのディスカッションの場を以下に設定したと報告があった。

主 催:日本医療教授システム学会

日 時:2016 年 9 月 16 日(金)18:30~20:00(終了後懇親会)

会 場:東京大学医学図書館 3F

参加費:1,000 円

内 容:

- (1)日本医療教授システム学会の新しい方向性について
- (2)2020 年に向けた新たなビジョンについて

10. その他

- ・配布資料に基づき、本学会の会員の都道府県ごとの会員数が報告された。
- ・配布資料に基づき、2016 年度開催のセミナーが報告された。

以上